

令和6年度・上部団体主催大会京都府代表選手選出方法について

一般社団法人京都府ボウリング連盟

- ※ JBC主催大会に出場する者は、申込締切（大会開催日1ヶ月前）前月末までに公認ゲームを月10ゲーム以上消化していること。JPBAプロボウラーは免除する
- ※ 予選を兼ねる競技会に参加する場合は、競技会参加申込時点で、予選参加を明記する必要がある（競技会当日の予選参加申込不可）
- ※ 予選を兼ねる競技会において、当日予選参加を辞退する場合は、辞退届を提出すること。
- ※ すべての競技会にシード<予選免除>を行う場合がある。

全日本選手権大会

消化ゲームについて

- (1)シード<予選免除>・(2)予選会ともに当該年度4月から11月末までにJBC公認ゲームを60ゲーム以上消化しており、且つ1月末までに100ゲーム以上消化することが可能な者。

以下の条件を満たす選手をシード<予選免除>または予選会参加資格者とする。ただし、競技会については前年度12月から当該年度11月までを対象とする。

(1) シード<予選免除>

- ・次のいずれかに該当する選手をシード<予選免除>する。
 - ※ 当該年度ナショナルチーム・ユースナショナルチームメンバー
 - ※ (前年度)全日本選手権大会 選手権者
 - ※ 全日本選抜選手権大会 選手権者
 - ※ 全国都道府県対抗選手権大会 選手権者
 - ※ 西日本選手権大会 選手権者
 - ※ JPBAプロボウラーで、当該年シードプロ（男子24名・女子18名）
 - ※ 以下の各大会のうち2大会以上の選手権者
関西選手権大会、関西選抜選手権大会、京都府選手権大会、京都府選抜選手権大会、KBFイヤリーチャンピオンシップ、京都府社会人実業団選手権大会（個人総合）
 - ※ 次の競技会について、該当者に（シードポイント）1ポイント与え、合計5ポイント以上を獲得した者（但し、同一大会でのポイントは1ポイントのみとする）
- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ①国民体育大会 | ⇒各種目入賞者 |
| ②(前年度)全日本選手権大会 | ⇒各種目入賞者、マスターズ戦出場者 |
| ③全日本選抜選手権大会 | ⇒決勝戦出場者 |
| ④全国都道府県対抗選手権大会 | ⇒各種目入賞者、選手権者決定戦出場者 |
| ⑤西日本選手権大会 | ⇒各種目入賞者、選手権者決定戦出場者 |
| ⑥上記以外のJBC主催大会（西日本シニアを除く） | ⇒各種目入賞者、個人決勝出場者 |
| ⑦関西選手権大会 | ⇒各種目3位までの入賞者 |
| ⑧関西選抜選手権大会 | ⇒3位までの入賞者 |
| ⑨上記以外の関西連盟主催大会（関西シニアを除く） | ⇒各種目3位までの入賞者 |
| ⑩京都府選手権大会 | ⇒マスターズ戦3位までの入賞者 |
| ⑪(前年度)京都府選抜選手権大会 | ⇒3位までの入賞者 |
| ⑫(前年度)イヤリーチャンピオンシップ | ⇒3位までの入賞者 |
| ⑬京都府社会人実業団選手権大会 | ⇒個人総合3位までの入賞者 |
| ⑭(前年度3次～当該年度2次)メジャーリーグ | ⇒優勝者（複数回優勝の場合も1Pのみ） |

(2) 予選会

当該年度KBFイヤリーチャンピオン参加資格者

※ 予選通過選手が、代表選手を辞退した場合は、次年度予選参加不可

全日本選抜選手権大会

① 大会参加資格者

② 連盟推薦選手

(前年度) 京都府選抜選手権優勝者 (6位入賞者まで繰下げ)

欠員の場合は、

男子前年度メジャーリーグ全期通算アベレージ上位者 (繰下げなし)

女子前年度メジャーマイナーリーグ全期通算アベレージ上位者 (繰下げなし)

国民スポーツ大会 (成年・少年)

選考会 (予選) を実施

1次選考会 当該年度JBC会員であり、京都府から出場できるもの

2次選考会 京都府から出場できるものであり、下記①～③のいずれかに該当するもの

①当該年度全日本ナショナル (ユース) チームメンバー

②前年度国体京都府代表選手 (近畿ブロック含む)

※ 前年度少年の部代表選手で、当該年度から成年になる選手は、成年代表選手として扱う

③JPBAプロボウラーで、前年度ランキング50位以内

日本スポーツマスターズ

① 前年度選手権者をシード<予選免除>

② 京都府マスターズ選手権大会を予選とする (予選のみ対象)

※ 予選通過選手が、代表選手を辞退した場合は、次年度予選参加不可

ねんりんピック (京都府代表のみ) 京都府シニアオープン競技大会 (5月開催) を予選とする

※ 京都市代表は別途京都市ボウリング協会より選出

全日本実業団産業別選手権大会 予選会を実施

全日本実業団選手権大会 予選会を実施

全日本実業団都市対抗選手権大会 予選会を実施

前年度優勝チームはシード<予選免除>とし、メンバー変更可

オールジャパンレディストーナメント

① 前年度優勝チーム (当該部門のみ) をシード

② 京都府ダブルスオープン競技大会 (4月開催) を予選とする

全日本新人選手権大会 京都府新人競技大会を予選とする
(成年入会后3年以内・少年通算3回まで)

全日本年齢別選手権大会

① 前年度優勝者 (当該部門のみ) をシード<予選免除>

② 京都府年齢別を予選とする

全日本大学個人選手権大会

- ① 前年度優勝者をシード<予選免除>
- ② 京都府年齢別オープン競技大会（1月開催）を予選とする

全国高等学校選手権大会

- ① 前年度優勝校はシード<予選免除>とし、メンバー変更可
- ② 京都府高等学校選手権大会を予選とする

全日本シニア選手権大会

- ① 前年度優勝者（マスターズシニア部門のみ）をシード<予選免除>
- ② 京都府シニア選手権大会を予選とする（予選のみ対象）

全日本クラブ対抗選手権大会

- ① 前年度優勝チームはシード<予選免除>とし、メンバー変更可
- ② 京都府クラブ対抗選手権大会を予選とする

全日本中学・高校選手権大会、全日本小学生競技大会

- ① 当該年度全日本ユースナショナルチームメンバー
- ② 前年度優勝者をシード<予選免除>
- ③ 京都府ジュニア選手権を予選とする

全国都道府県対抗選手権大会 京都府ミックスダブルス競技大会を予選とする

西日本選手権大会 京都府ダブルスオープン競技大会（4月開催）を予選とする

西日本シニア選手権大会

- ① 前年度優勝者（当該部門のみ）をシード<予選免除>
- ② 京都府シニアオープン競技大会（7月開催）を予選とする

関西選抜選手権大会

- ① 大会参加資格者
- ② 連盟推薦選手（3名）
 1. KBFイヤリーチャンピオン優勝者（6位まで繰下げ）
 2. 男子1～3次メジャーリーグ 通算アベレージ上位者（1名）
女子1～3次メジャーマイナーリーグ通算アベレージ上位者（1名）
 3. ジュニアチャンピオン決定戦（11月開催）優勝者（8位まで繰り下げ）

関西選手権大会

- ① ジュニアチャンピオン決定戦（7月開催）上位から男女1チーム
- ② 京都府ダブルスオープン競技大会（8月開催）を予選とする

関西シニア選手権大会 京都府シニアオープン競技大会（5月開催）を予選とする

関西ミドル選手権大会 京都府ミドル選手権大会を予選とする

関西実業団選手権大会

- ① 前年度優勝チームはシード<予選免除>とし、メンバー変更可
- ② 予選会を実施

関西クラブ対抗競技大会

- ① 前年度優勝チームはシード<予選免除>とし、メンバー変更可
- ② 京都府3人チーム競技大会を予選とする

関西年齢別選手権大会

- ① 前年度優勝者をシード<予選免除>
- ② 第1～2次メジャーリーグ通算アベレージ上位2名
各年代（2名×7部門：14名）（繰下げあり）
- ③ 京都府年齢別を予選とする

関西ダブルス競技大会

- ① 前年度優勝チームをシード<予選免除>（同一部門のみ・メンバー変更不可）
- ② 京都府2人チームを予選とする（予選のみ対象）

関西ジュニア選手権大会 京都府ジュニア選手権大会を予選とする。

関西新人競技大会 京都府新人競技大会を予選とする
（成年入会后5年以内・少年制限なし）

ジュニア・ジャパン強化選手の連盟推薦基準について

自己推薦とする。

但し、当該年度の京都府ジュニア選手権大会に参加し、全日本中学・高校選手権大会の京都府代表選手に選出され、下記①・②・③のいずれかに該当するものとする。

- ① 過去ジュニアジャパン認定会に参加した選手
- ② JBC主催大会（小学生大会を除く）で入賞した選手
- ③ 京都府ジュニア選手権大会上位（男子5名・女子5名、但し上記①・②の選手を含まない）

連盟の推薦基準をクリアした選手は速やかに推薦書を連盟に提出すること。

その後JBCの書類選考を通じて「ジュニア・ジャパン強化選手認定会（例年8月）」に参加者が決定される。

ジュニア・ジャパン強化選手認定会で、選抜認定された場合、

「ジュニア・ジャパン選抜強化合宿（例年10月）」に参加することができる。